

人生の中で「勉強しかなかった1年」があつていい

進路指導主事

3年生諸君に一番伝えたいことは、「人生の中で勉強しかなかった1年があつていい」ということです。そして、次に伝えたいことは「遠慮しないで」ということです。受験まで様子を見ている時間はありません。新しいHR担任、教科担任・・・自分達から飛び込んで頼れる先生方を味方につけてください。

戦い抜くために、勝ち抜くために今から書く8つのことをいつも心に留めて過ごしてください。

1つ目は「学習は量からの質」。1日10時間学習が基本（もっとできる人はやっているはず）。部活動のある人はそこから部活動の時間を引いた時間が学習時間。部活が終わるまで「部活と勉強、以上!」。こういう過ごし方をしてください。大学に入ってもできることはもう封印せよ。

2つ目は、「授業に“宇宙一”集中」。1日の学習時間で一番多くを占めるのは、実は授業。受け身の姿勢ではなく「考えて考えて、考えて考えて脳をフル回転」、その場で自分の脳に刻み込み!理系で言えば特に国語、英語、文系で言えば理科基礎、公民、私文で言えば国語セミナーなどの授業をどれだけ活用できるかが勝負の分かれ目となります。

3つ目は「せっかくやるのだから実にする学習にする」。大切なのはどれだけ覚えたか理解したか。ただ「やる」のではなく、「理解するための学習」の仕方を自分で探究して確立していくこと。

4つ目は「MUSTをWANTに変えろ」。やらなきゃいけない受験勉強の中で、「自分の将来の夢を実現するために頑張る!」「〇〇に絶対になる!」「学ぶことが楽しい」「解ける喜び」「みんなと切磋琢磨して自分が成長している実感がある」が見いだせていくとMUST感がなくなるとは言わないけど軽減される。受験勉強がMUST 100%だと、自転車で例えると。ブレーキかけながらペダルを一生懸命こいでいる感じ。なかなか前に進まないし、しんどくて嫌になっちゃうよね。

5つ目は、「一人一人が自覚してこの学年のスタンダードを上げろ」。「みんな第1志望に受かろう!」なのか、「みんな落ちれば怖くない」なのか。もちろん前者で行こう。学習時間を増やすために、声をかけて自習室に行こう。毎朝学習する習慣を身につけよう。目線を上げて日々過ごそう。授業、教室、部活仲間、補習でその環境を作っていこう。「できない〜」「無理〜」「面倒くさい」・・・こういった言葉が自分にブレーキかけている、周りの推進力を鈍らせている（学年のスタンダードを下けている）ことに気付くこと。

6つ目は「1, 2年生にその背中“戦いざま”を見せろ」。先輩達の頑張りを見習って私達も頑張る!そう思わせてほしい。「反面教師」になるのはノーサンキューだよね。1, 2学年から「3月の合格体験談は特に聞く価値はないよね〜」、「一つ上の学年みたいになるな」「一個上の学年はなかったことにして今の2年生から新生前女を・・・」、こんなことを言われたくはないよね。

7つ目は「一学期の戦略をしっかりと考えて臨め」。一学期はやはり基幹科目の英国数（理系は専門理科）を中心に学力を確実にぐんぐんつけていく（1〜6つ目の心構えでできていれば絶対に力がつく!）。そして、「記述力!」「文系は数学から逃げない!」「駿台模試に勝負を挑む!」こういう心構えで取り組んでほしい。

8つ目は「学校を、先生を、進路室を利用せよ」。昨年度の3学年主任の先生が「前女の教員は前女の応援団です」とMJHジャーナルで語っていました。その通りです。ぜひ「遠慮なく」学校の先生を頼ってください。そして、授業、補習、面談、自習室、添削指導、質問などそういった場面場面で活気や前のめり感があると、絶対に最後まで気持ちを切らさずに乗り切ることができます。駿台希望者模試、みんなで受けましょう。学習合宿、多くの3年生で参加して「やってる感」を出しましょう。進路室にも「遠慮なく」相談に来てください。